

令和4年度 看護を語る会

令和4年5月6日（金）、看護を語る会を執り行い、本校2年生39名が看護師の道を目指す決意を新たにしました。

2年生は看護学校に入学し1年が経過し、日々、専門的な学習を深めております。また、1年生の時には3回の基礎看護学実習を経験し、患者様との関わりを深め、成長する機会をいただくことが出来ました。本校では、この時点で立ち止まり、看護の意味を改めて考え、自分がどのような看護師を目指したいのか、患者様にどのような看護を提供したいのかを考える機会として例年、ナイチンゲールの生誕に合わせて看護を語る会を執り行っています。



式典前には、3年生からコサージュを一人一人胸元につけてもらい、先輩からの頼もしいエールをいただき感謝です。





式典はキャンドルサービスの厳かなセレモニーを中心に行っております。学生たちは、緊張感が漂う中、患者さんとの関わりを通して培った自分自身の目指す、大切にしたい看護を、思いを込めながら一人一人が発表しました。その後、ナイチンゲール像からキャンドルの灯火をいただき、2年生全員で考えた誓いの言葉を述べました。学生たちは 新たな誓いを胸に、晴れ晴れとした表情を浮かべていました。



「私たちは、それぞれの誓いを胸に 患者様の個別性を尊重し、根拠のある看護を提供できるように相互に協力しあい、向上心を持ち続けていくことを誓います。」

今年度の2年生は人との相互作用から成長し、クラスのみんなで高めあうという精神を大切に今後も協力していくことでしょう。



近隣のコロナ感染が比較的落ち着いている状況を鑑み、今年度は、3学年の縦割りグループでの交流会、そして、「自分がどのような看護を受けたいのか」をテーマでグループワークと、学びの共有を行いました。2年生だけでなく、学校全体で看護について改めて考える機会となり、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

骨筋かるた難しい～
((+ +))

楽しくトランプしています！

2年生は、6月には老年看護学実習が予定されており、老年期の特徴を捉えたより専門的な学習への対応が求められています。この

誓いの言葉を胸に、日々の実習や講義の中での学びを大切に、相手に対する共感の心を具体的な看護として表現できる看護師へと成長して欲しいと切に願います。

